

令和6年度以降の主な取組について

●事業所移転について

「稼げる観光」を通じ持続可能なまちづくりを実現していくためには、民間主導による観光コンテンツの創出が極めて重要であり、こうした考え方を市と観光協会が共有し、同じ方向を向いて本市の観光政策を推進していくため、両者が同一建物内に事務所を移転し、2月26日（月）より業務を開始した。

所在地：射水市本町二丁目13番1号（新湊消防署1階）

●行政組織の改編について

観光・定住課（観光振興係、定住促進係）



観光まちづくり課（観光振興係、移住・空き家利活用係）

イベント重視の賑わい創出にとどまらず、観光コンテンツの創出や磨き上げ、関係人口の創出や移住を通じて好経済循環を生み出し、持続可能なまちづくりを進めていくという方針を明確にするため課名を改称する。

また、現在、河川・港湾課が所管する「内川の賑わい創出」に関する業務を移管し、空き家の利活用等による内川周辺エリアの価値向上に集中的に取り組むため、係名を改称する。

●観光庁補助事業（特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業）の採択内定について

1 オンリーワン！！射水市復興祈念花火大会特別船上貸切観覧と竹あかりや獅子舞で彩る内川ナイトクルーズ事業

(1) 事業概要

令和6年能登半島地震により大きな被害を受けた射水市のインバウンド誘客の回復を目指す特別体験プログラムを実施し、射水市の魅力を世界へ発信し、観光誘客に取り組み、地域消費拡大につなげる。

- ・花火大会を船上等から貸切鑑賞するツアーの造成
- ・松明の炎とともに激しく舞うオンリーワンの獅子舞の特別貸切鑑賞
- ・復興に向けた希望の光「竹あかり」が彩る内川ナイトクルーズ

・世界でここでしか体験できない早朝の白エビ漁師体験 等

(2) 事業主体

一般社団法人射水市観光協会 (採択上限額 35,000千円)

2 「祭り」で富山を元気に！歴史ある伝統的な祭りを未来につなげるプロジェクト [県事業]

(1) 事業概要

国内でも有数の祭り文化を有する富山県で、地元の食材や酒を楽しみながら祭りの観覧ができる特別観覧席や、地域住民と交流できる参加体験ツアーなど、インバウンド向けの特別な体験コンテンツの造成を行い、収益化の実現や祭りの持続可能な運営モデルの構築を目指す。

本市は、新湊曳山祭りや獅子舞などで県と連携していく。

(2) 事業主体

富山県

●射水市道の駅新湊等整備運営事業について

老朽化した道の駅新湊を改修し、令和7年度中のリニューアルオープンを目指す。

[リニューアル概要 (案)]

現・道の駅新湊は「minami court」(仮称)として主に物販とカフェ、農産物直売の機能を、現・新湊農村環境改善センターは「kita court」(仮称)として主にレストランとフードホール機能を持たせる。

また、両施設の間新たに芝生広場「center court」(仮称)を設け、ファミリー層の来場を促す。

なお、芝生広場の設置に伴い、両施設の間を通る市道作道228号線をエリア北側に付け替える。

●クロスベイ新湊の魅力向上について

賑わいがイベント開催時に限定されている点、学生の学習スペース化している点、シェアキッチンの稼働率が低い点など、課題が顕在化してきている。また、観光協会の移転に伴い生じた空きスペースの利活用についても、早急に検討しなければならない。

このため、令和6年度において、空きスペースのトライアルサウンディング（暫定利用）を行い、様々な可能性を探るとともに、クロスベイ新湊の魅力向上に向けた検討を行う。